

# 令和6年度事業報告

## I 会務報告

### 1 皇室関係

- (1) 第63回全国林業経営推奨行事賞状伝達贈呈式への秋篠宮皇嗣殿下のお成りについては、3月4日、お成り日を11月7日とする旨連絡があり、10月7日、宮内庁長官あてにご臨席依頼書を発出した。
- (2) 10月17日、賞状伝達贈呈式に先立ち、永田会長が秋篠宮家宮邸において皇嗣殿下に受賞者の経営内容についてご進講した（沢田副会長、松本常務同席）。
- (3) 11月7日、千代田区の飯野ビル4階イノホールにおいて、皇嗣殿下のご臨席を仰ぎ、賞状伝達贈呈式を挙行了した。
- (4) 11月13日、秋篠宮家宮邸に永田会長、沢田副会長および松本常務が皇嗣殿下お成りへの御礼記帳に伺った。
- (5) 11月30日、東邸で行われた皇嗣殿下誕生茶会に永田会長、沢田および吉川副会長並びに田中名誉会長の4名が参加した。
- (6) 令和7年11月初旬に挙行する第64回全国林業経営推奨行事賞状伝達贈呈式への皇嗣殿下のお成りについては、12月16日、宮務官長あてにお成り願いを発出し、1月30日、お成り日の連絡があった。
- (7) 1月7日、秋篠宮家宮邸に永田会長、沢田副会長および松本常務が新春のご記帳に伺った。
- (8) 3月、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のプライベートな森林視察を斡旋し、会長が同行した。

### 2 会議の開催

- (1) 5月9日、港区の航空会館5階会議室で第1回理事会を開催し、「令和5年度事業報告および決算に関する件」「会費規程の改正に関する件」「定時総会提出議案に関する件」および「新規会員の承認に関する件」の4議案を審議して原案どおり承認された。次に、「業務執行理事の職務執行状況」その他について報告した。
- (2) 5月28日、航空会館の7階大ホールで定時総会を開催した。会場出席した58名と議決権行使書提出者232名および委任状提出者199名で489名の出席となり、同日現在の会員総数771名の過半数を占め、「令和5年度事業報告および決算に関する件」および「会費規程の改正に関する件」の2議案を審議して原案どおり承認された。次に、「令和6年度事業計画および予算に関する件」について報告した。

なお、総会に先立ち参与会議を開催し、林業経営「創意工夫」表彰行事で優秀賞を受賞した岐阜県の田口房国氏から「キャンパーに森林をレンタルする『フォレンタ』」について話題提供があり、それを踏まえて意見交換を行った。

- (3) 3月25日、航空会館の5階会議室で第2回理事会を開催し、「退職給付引当資産の取崩および中期的な収支改善策に関する件」「公益法人制度改革および公益充実資金の創設に関する件」「令和7年度事業計画および予算に関する件」「令和7年度定時総会招集等に関する件」および「令和7年度第1回理事会開催に関する件」の5議案を審議して原案どおり承認された。次に、「業務執行理事の職務執行状況」、その他職員の任免、「コンプライアンス推進規程」の制定および「役職員の行動規範」の策定、「文書規程」の改正等について報告した。
- (4) このほか、8月を除く毎月、常務役員会を開催し、会務運営の重要事項について協議した。

### 3 会員の関係

令和7年3月31日現在における会員数は、正会員740名、特別会員32名、計772名となっている（令和6年3月31日比で5名の減少）。

### 4 公益法人関係

- (1) 内閣府公益認定等委員会に対し、6月25日に令和5年度事業および決算を報告するとともに、役員変更の届け出を行った。
- (2) 3月15日、内閣府公益認定等委員会に対し、令和7年度事業計画書および収支予算書を報告した。

## II 事業の実施

森林・林業を取り巻く諸情勢を踏まえつつ、1 普及啓発事業、2 調査研究事業、3 山林事業、4 林業文献センター事業の4つの公益事業と、収益事業に取り組んだ。

### 1 普及啓発事業（公一1）

- (1) 森林・林業に関する指導、奨励および普及
  - ① 5月11日、「みどりの感謝祭」（イイノホール）に永田会長が出席した。
  - ② 5月25日、「第52回全国林業後継者大会」（岡山県津山市）に永田会長が出席し、激励の言葉を述べるとともに、翌5月26日、「第74回全国植樹祭」（岡山県岡山市）に出席した。
  - ③ 日本椎茸農業協同組合連合会が主催する全国乾椎茸品評会に協賛するとともに、8月1日の表彰式（東京都新宿区）に来賓として永田会長

が出席し、大日本山林会会長賞を授与した。

- ④ 10月20日、沢田副会長が「第47回全国育樹祭」式典行事（福井県越前市・鯖江市）に出席するとともに、翌21日、関連行事「2024森林・林業・環境機械展示実演会」（福井県勝山市）を視察し、出展企業・団体と情報交換を行った。
- ⑤ 2月6日、埼玉県知事公館で開催された本多静六賞選考委員会に選考委員として永田会長が出席し、3月13日、県庁で知事に選考結果を報告した。
- ⑥ 関係団体等の開催する様々なシンポジウム等に会場出席やオンライン出席で参加し、情報の収集・交換に努めた。
- ⑦ 「緑の募金支援団体」としての募金協力、関係団体への活動支援などを通じ、森林・林業の奨励・普及に努めた。

## (2) 森林・林業に関する講習、研修および講演会の開催

- ① 10月23～25日、「日田林業の歴史といまに学ぶ一木材生産から加工・流通、そして木造建築まで一」を研修課題として大分県日田地方で現地研修会を実施し、日田木材協同組合および(株)日田中央木材市場における木材流通、長氏およびマルマタ林業(株)所有山林における特徴ある林業経営、(株)トライウツの輪掛け乾燥および木材加工施設等並びに日田市咸宜小学校等の市内木造施設を見学した。
- ② 意欲と能力に優れた林業後継者を養成し、地域間、世代間の連携を密にしながら今後の我が国林業を支える人材ネットワークを形成するため、関係団体が連携・協力して、令和6～8年度までの3年間にわたり21世紀の林業を担う林業後継者養成セミナーを開催することとし、令和6年度は、1月21～23日に40名の後継者の参加を得て栃木県で、1月25～27日に35名の参加を得て宮崎県で養成セミナーを開催した。
- ③ 2月27日、東京都港区の汐留ビジネスフォーラムにおいて関係団体との共催によりシンポジウム「森林の多面的利用で生み出す新たな森林経営」を開催し、主催者、発表者も含めて80名の会場参加を得て成功裏に終了した。
- ④ 東京大学の「大学院農学生命科学研究科森林科学専攻林政学研究室」および「アジア生物自然環境研究センター木材利用システム学寄付講座」において、永田会長が研究・教育に協力した。
- ⑤ 東京農業大学において、原参事が「現代社会と経済」、杉野参事が「農と伝統文化」の講義を実施した。

## (3) 海外への林業振興に関する技術援助

海外の法人会員等に対する会誌『山林』の送付等を通じ、海外への情報提供に努めた。

## (4) 森林・林業教育の振興および研究の助成

- ① 3月20～23日に北海道大学の農学部および学術交流会館で開催された第136回日本森林学会大会の高校生ポスター発表に協賛した。また、22日に交流会館の小講堂で举行されたポスター発表の表彰式で永田

会長があいさつし、最優秀賞等を受賞した高校生を始め参加した23校からの24発表チームの高校生を激励するとともに、各発表チームへ記念品として本会発行の「日本の森林と林業―森林学習のための教本―」を1冊ずつ授与した。

② 昭和37年、林業の実業教育に携わる農林高校の教員が情報を共有し、共通の問題に取り組むために全国林業教育研究会が創立され、その後、何回か名称等を変更しながらも継続してきたが、コロナ禍により令和2年以降開催が途切れている同研究会の機能を復活させるために、9月から1月にかけて関係団体と打合せや検討会を4回行い、次年度に農林高校の林業教育教員を支援するためのネットワークの設立に向けて準備委員会を発足させることにした。

#### (5) 森林・林業に関する発明、改良の奨励

9月1日から1月31日まで令和6年度林業経営「創意工夫」表彰行事の募集を行い、3月5日、審査委員会を開催して応募のあった2件を審査した結果、次のとおり優秀賞および奨励賞を決定した。

優秀賞 大江町光林会（山形県）

「スマホを持って所有林を探しに行こう」研修会の開催等による所有山林の相続登記・森林整備の推進

奨励賞 大谷栄徳（和歌山県）

大型ドローンの安全な運搬体制に向けたルールづくり

#### (6) 森林・林業に関する刊行物の発行

① 会誌『山林』を第1679号～第1690号まで発行した。なお、8月を除き年間11回『山林』編集委員会を開催した。

② 『平成林業逸史』の刊行に向けて、前年度に引き続き、会誌『山林』に年度を通して毎月「特集 平成林業逸史」を連載した。

③ 第63回農林水産祭参加全国林業経営推奨行事受賞者の経営内容を要約した『選ばれた林業経営』を刊行した。

④ 『「脱・国産材産地」時代の木材産業』『日本の森林と林業』『昭和林業逸史』をはじめとする既刊本の販売に努めた。

#### (7) 森林・林業功労者の表彰

① 第63回全国林業経営推奨行事については、都道府県から推薦を受けた優良林業経営体について、2度にわたる審査委員会および森林管理局による現地審査（大臣賞候補者のみ）を経て、大臣賞8点、長官賞16点、会長賞2点の計26点を決定した。11月7日、本会総裁秋篠宮皇嗣殿下のご臨席を仰ぎ、賞状伝達贈呈式を挙行了。皇嗣殿下は、記念パーティーに参加され、永田会長の先導で受賞者一人ひとりに温かいお声掛けをされてご退出された。

② 12月5日、伊勢神宮崇敬会が実施する農事関係功労者顕彰行事におい

て、本会が推薦した広島県の加計正弘参与が林業部門で顕彰された。また、永田会長が出席し、来賓代表として祝辞を述べた。

## 2 調査研究事業（公一2）

- (1) 令和5年度林業経済研究所委託調査「森林経営管理制度における広域連携の役割：埼玉県秩父地域・長野県木曽郡・愛媛県南予流域を事例に」の報告書に関係者に配付した。
- (2) 令和6年度は、「木材製品需要の変動が地域の素材生産に及ぼす影響」に関する調査研究を林業経済研究所に委託し、報告書を作成した。

## 3 山林事業（公一3）

特段の森林施業や現地状況確認は実施しなかったが、7月と12月の山林巡視手当支給時に山林管理人に各所有林および各部分林の近況報告を求め、山林の実態把握に努めた。

## 4 林業文献センター事業（公一4）

- (1) 7月25日、林業文献センター運営委員会を開催し、資料「令和5年度に開催した作業部会の経過とその結果」および「新三会堂ビルにおける山林会事務所の区割り案」を用いて「令和9年度以降の新三会堂ビルでのセンター運営とその準備」について説明して意見交換を行った後、令和5年度の事業報告および令和6年度の事業計画を説明して了承を得た。
- (2) 社会福祉法人日本キリスト教奉仕団東京都板橋福祉工場に委託して「小林準一郎文庫」87冊、「中西文庫」10冊、「野村文庫」20冊（ほかに地図32枚）など書籍計164冊（いずれも合本の冊数）の電子ファイル化を行った。
- (3) 1月16日、新三会堂ビルでの書庫の書棚を移動式にした場合と固定式にした場合、それぞれの場合の見積もりを専門業者から徴取したところ、移動式だと約700万円、固定式だと約250万円になることが判明した。
- (4) 2月12日に市政図書館、2月25日にみどりの図書館（いずれも都立日比谷公園内）を訪問し、文献の収蔵状況等を視察するとともに、専門図書館の運営に当たって注意すべき点等について意見交換を行った。
- (5) 令和7年3月31日現在、「収蔵文献・検索システム」に登録されている文献数は30,296件となっている。

## 5 収益事業（収一1）

港区赤坂の土地の共同所有者である（公社）大日本農会および（一社）大日本水産会とともに、基本財産である同土地を安全かつ有効に活用し、正味財産増減計算書に基本財産賃貸料として計上した基本財産運用益を上げた。

また、（公社）国土緑化推進機構からの新規受託事業として小学校高学年を対象とする生物多様性読本の作成に取り組み、年度内に編集委員会を4回開催した。

